

22年度大洲市成人式行われる

1月9日午後1時より平成22年度大洲市成人式が、大洲市民会館で行われました。今年の成人数は男子289人・女子251人、合計540人でした。

式典では、河辺地区の壽野英麻呂さんが記念品受領、大洲地区の大井翔さんと長浜地区の賀栄悠さんが花束受領、答辞を肱川地区 松本尚也さんが代表されました。司会進行は大洲地区栗田 啓輔さん・藤木摩耶さんがされました。

華やかに着飾った成人の日を迎えた方々が、会場の大洲市民会館に集っていました。若者が集結し、爆発的なエネルギーを感じました。参加者の一人一人が、ご家族の限りない慈しみのなかで成人の日をむかえられたことを心からお祝い申し上げます。



12月議会報告

梅木かづこ市議の質問と理事者の答弁

12月議会で、地域公共交通について質問をしたのですが、議会報告特集で報告がぬけていました。追加して報告します。

地域公共交通について

6月議会の理事者の答弁で『実効性のある公共交通計画を策定し、高校生の通学はじめ、市民のみなさんに喜ばれるように検討を進めて参りたい。地域公共交通体系を計画していくということは、地域特に高齢者の皆さんとか、子供さんたちとか交通弱者と言われる方々のご意見を十分聞きながら、その地域の实情にあったまた、財政的にもいろいろ考慮しながら計画を進める必要がある。』と言われました。具体的のどのように実態を把握し、どのように検討し、総合的な計画を何時明らかにするのか。

<答弁> 市内中心から長浜・河辺・肱川などの路線は維持し、幹線交通では、オズメッセ敷地内にバス待ち合わせ室的な施設を計画する。伊予鉄・南予バスについてオズメッセ経由して運行してもらうように時刻の調整もしていきたい。

私は、地域交通の質問で、特に各集落から、買い物や医者に行くに当たり日常的な生活を過ごすために必要な交通の確保を質問したのですが、理事者の答弁は、基幹交通の利便性の確保が中心でした。高齢になり、歩いて交通機関の乗り場まで行けないなどいま、地域の中での足の確保は切実です。予約すれば集落まで迎えにきてくれる公共交通は、県内で取り組みが広がっています。大洲市でも是非取り組み実施求めましょう。

議長車400万円で買い換えについて、

みなさんは、どのように思いますか。

1月17日、議長から、『議長車の買い換えを、3月当初予算でお願いしたい。』と説明がありました。現在、トヨタクラウンを利用している。走行距離が142,044kmあまり。(乗り続けると225,247kmになる)次回車検が23年3月。初年登録平成8年3月。21年度には約13万円、22年度は14万円の修繕料がいった。まだ緊急を要する修繕料が9万円いる。

県下で議長車を保有してるのは、8市(宇和島、西予、八幡浜、は平成22年度にプリウスに切り替えた。他の5市は買い換への予定なし)

議長車廃止2市(東温市、新居浜市)

ハイブリット車で400万円程度の車にしたい。

ということでした。説明のあと、各議員から意見が出されました。

廃止した所はどのようにしているのか

タクシーなどの活用をしている・公用車の活用で運行している

議長車の運行をすれば、経費がかさむ、公用車を使えばいいのでは。一人しか乗らないのだから、大きな車はいらないのではないか。

議長は遠く出かける。小さな車では乗り心地が悪い。現にプリウスを利用している他市の市長から乗り心地が悪いと言われている。だから400万円程度の車にしたい。

議長を毎日、自宅まで迎えに行くことに関して、市民から、一度市に出勤して公務をしたらいいとの声がある

その声は聞いている。しかし、飲み会も多く、理解をして欲しい。

等の意見が出されました。議長は、次の議長は、だれになるかわからないが、理解して頂きたい。3月当初予算に、議会として予算要望したいといひます。梅木かづこ議員も説明は受けましたが、理解やわかると言うことではない。と発言しました。市民のみなさんのご意見をおきかせください。